

新潟国際情報大学 創立10周年記念

学術シンポジウム

# 国際化・情報化と 大学の社会的役割

日時: 2003年6月7日(土)  
9:00開場

会場: 朱鷺メッセ(国際会議場)



新潟国際情報大学

テーマ:国際化・情報化と大学の社会的役割

日時:2003年6月7日(土) 9:00開場  
会場:朱鷺メッセ

9:30~12:00 第1部 学術講演会(於 国際会議室) 司会:區建英  
開会挨拶 武藤輝一(本学学長)

基調講演 非霸権的サイバー空間の構築:  
アジア太平洋「共生」の条件として  
武者小路公秀(中部大学教授)

休憩(5分)

特別講演Ⅰ グローバル化とアジア太平洋の「共生」  
ブライアン・J・ヘッス(アメリカ・ノースウェスト・ミズーリ州立大学政治学助教授)

特別講演Ⅱ 情報化の進展と都市デザイン  
ピーター・ドローグ(オーストラリア・シドニー大学建築学部長)

13:30~17:30 第2部 シンポジウム  
セッションⅠ(於 中会議室) 司会:佐々木寛  
テーマ:新世紀アジア太平洋「共生」の条件

13:35~15:35 専門発表

①東アジアの歴史認識問題

梅雪芹(中国・北京師範大学歴史学部副学部長)

②東アジアの国際問題

ウラジーミル・アントーノフ(ロシア・極東大学付属国際関係大学長)

③東アジアの地域協力

安栄洙(韓国・慶熙大学国際教育院長)

コーヒーブレイク(15分)

15:50~16:50 パネルディスカッション  
コメンテーター: 芳井研一(新潟大学教授)

松本ますみ(敬和学園大学助教授)

広瀬貞三(本学教授)、高橋正樹(本学助教授)

16:50~17:30 質疑応答

セッションⅡ(於 国際会議室) 司会:山口直人

テーマ:電子自治体の展望と大学の役割

13:35~15:35 専門発表

①カナダにおける電子政府の現状と課題

エドワード・ルサージ(カナダ・アルバータ大学政府研究学部副学部長)

②電子社会へのパラダイムシフト

國領二郎(慶応義塾大学環境情報学部教授)

コーヒーブレイク(15分)

15:50~17:30 パネルディスカッション

官(行政)から大学への期待

中野雅至(前新潟県情報政策課長)

産(企業)から大学への期待

河内康志(北陸電々株式会社 代表取締役社長)

民(市民)から大学への期待

吉岡和彦(新潟日報社) データ情報センター)

学(大学)の代表として 高木義和(本学教授)

質疑応答

●主旨 学術シンポジウムの開催にあたって

120年も前に福沢諭吉は『民情一新』で、「交通・通信革命」による社会の激変を論じ、経済環境の転換も政治的民主化も不可逆の大勢となる当時の状況を語った。それに比べ、今日のIT革命に伴うグローバル化は更に同日の論ではない。情報化はもろろん、国境を超えた経済活動や人的交流を大いに促進してきた。グローバル化につれて様々な問題も発生しているが、政治・経済・環境などの面における国際協力も展開されつつある。本シンポジウムは、こうした時代における大学の役割について考える。この主題に関する基調講演を行い、それをふまえて、下記の主旨で二つの分科会を行う予定である。

学術シンポジウム実行委員長: 區 建英(情報文化学科 教授)

●セッションⅠ 新世紀アジア太平洋「共生」の条件

アジア太平洋、とくに広い意味での「東アジア」の問題に焦点を当て、グローバル化時代の中長期的な平和構築の可能性について多角的な議論を展開したい。そのためには、まずこの地域で「共生」を阻んできた歴史的・政治的諸問題を整理する必要がある。第一に、歴史認識の問題、第二に、国際政治経済の構造的諸問題を明らかにし、それらをふまえた上で、新世紀には一体どのような地域協力の可能性や展望があるのかについて、ともに考えてみたい。

発題者・パネリストは、アメリカ、中国、ロシア、韓国、日本各地域出身の多様な分野にわたる研究者で構成されるが、それによって新たな平和構想のための多様な視点からの創造的な対話が期待できるだろう。本シンポジウムは、同じ問題を共有する「東アジア」における国境をこえた「大学文化圏」の形成に向けた第一歩であるといえる。

コーディネーター: 佐々木寛(情報文化学科 助教授)

●セッションⅡ 電子自治体の展望と大学の役割

IT最先端国家を目指して策定されたe-Japan戦略では、超高速ネットワーク インフラ整備および競争政策、電子商取引ルールと新たな環境整備、電子政府の実現、人材育成の強化という4つを重点政策分野として取り上げている。電子政府・電子自治体の実現については、未だ緒についたばかりであり、産学官民が一体となって進めることが必要である。そこで、電子政府・電子自治体の実現へ向けての大学の役割を探るとともに、具体的な地域貢献として、大学が主体となって設立・運営を目指す地域総合ITセンターへの道筋について、専門的な見地から議論し意見を集約する。

特別講演で地域づくりとITについて問題を提起し、専門発表では海外の状況と電子社会の理念の再整理を行い、その上で、産官民から大学への期待をめぐって、パネルディスカッションを展開する。

コーディネーター: 山口直人(情報システム学科 助教授)



■新潟駅からのアクセス

徒歩で—約20分      車 で—約5分  
バスで—約10分

■新潟空港からのアクセス

車 で—約20分

お申し込み・お問い合わせ

次の項目を記載のうえ、下記までFAX又は葉書でお申し込みください。

- 1.氏名(フリガナ)、
- 2.職業(企業名・所属名等)
- 3.連絡先(郵便番号、住所、電話番号)

FAX送付・お問い合わせ先

新潟国際情報大学

学術シンポジウム 係 (担当:関川)

〒950-2292 新潟県新潟市みずき野3-1-1

TEL 025-239-3111 FAX 025-239-3690

U R L : <http://www.nuis.ac.jp>



新潟中央キャンパス